



2024年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2023年8月9日

上場会社名 新家工業株式会社
コード番号 7305 URL <https://www.araya-kk.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 井上 智司
問合せ先責任者 (役職名) 代表取締役常務管理本部長 (氏名) 浜田 哲洋
四半期報告書提出予定日 2023年8月9日
配当支払開始予定日
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
TEL 06-6253-0221

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第1四半期の連結業績(2023年4月1日～2023年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第1四半期	11,505	2.8	627	47.0	933	33.6	658	30.4
2023年3月期第1四半期	11,836	31.9	1,184	126.2	1,404	142.1	945	151.7

(注) 包括利益 2024年3月期第1四半期 1,262百万円 (47.7%) 2023年3月期第1四半期 854百万円 (64.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第1四半期	118.32	
2023年3月期第1四半期	169.94	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第1四半期	55,005	32,924	59.2
2023年3月期	54,040	32,220	59.0

(参考) 自己資本 2024年3月期第1四半期 32,559百万円 2023年3月期 31,865百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期		20.00		100.00	120.00
2024年3月期					
2024年3月期(予想)				120.00	120.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	22,000	4.8	1,000	60.9	1,400	51.3	900	51.7	161.73
通期	43,000	7.4	1,800	61.1	2,000	59.6	1,300	57.5	233.60

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期1Q	6,045,326 株	2023年3月期	6,045,326 株
期末自己株式数	2024年3月期1Q	480,357 株	2023年3月期	480,307 株
期中平均株式数(四半期累計)	2024年3月期1Q	5,564,999 株	2023年3月期1Q	5,566,671 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	5
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	6
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、雇用・所得環境が改善する中、緩やかな回復が期待される一方で、世界的な金融引き締め等による海外景気の下振れが国内景気を下押しするリスクとなり景気の先行きには不透明感が強まりました。

鉄鋼業界においては、供給制約の緩和に伴う自動車生産の回復や首都圏を中心とした再開案件の着工など、需要回復が見られる一方で、資源・エネルギー価格の高止まりや人手不足による中小案件の需要低迷など、分野ごとで濃淡がみられ、国内の鉄鋼需要は総じて、低調に推移しました。

普通鋼製品につきましては、大型案件は引き続き底堅く推移した一方で、低迷する中小需要の中で、堅調に推移してきた物流倉庫や半導体工場関連、その付帯案件などにも一服感が見られ、業者間での受注競争が激化する中、販売数量は減少しました。

ステンレス鋼製品につきましては、段階的に引き上げられた販売価格が高止まりする中、半導体装置や食品関連、水処理等公共投資関連の案件にも翳りがみられ、半導体装置関連の大型案件では海外からの鋼材調達の動きもみられたことから、国内のステンレス需要は低調に推移しました。

自転車関連につきましては、急激な円安による輸入自転車の販売価格の上昇により、一般ユーザーの購買意欲の減退が見られ、新製品の投入や新規顧客開拓など拡販活動に注力しましたが、完成車販売数量は減少しました。

このような情勢のもと、当社グループといたしましては、主力の鋼管事業を中心に、様々なコストが上昇する中で、拠点ごとの生産品見直しによる配送の最適化と設備改善による生産の効率化を推進することでコスト削減に取り組みました。また、お客様のニーズに応える提案型営業に注力することで適正価格での販売維持に努めました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は11,505百万円（前年同期比2.8%減）、営業利益627百万円（前年同期比47.0%減）、経常利益933百万円（前年同期比33.6%減）となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は658百万円（前年同期比30.4%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末の総資産は55,005百万円となり、前連結会計年度末に比べ965百万円増加しました。流動資産は33,117百万円となり102百万円の減少となりました。これは主に、現金及び預金の減少736百万円であります。固定資産は21,888百万円となり1,067百万円の増加となりました。これは主に、投資有価証券の増加1,139百万円であります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末の負債合計は22,081百万円となり、前連結会計年度末に比べ261百万円増加しました。流動負債は16,894百万円となり102百万円の減少となりました。これは主に、未払法人税等の減少794百万円であります。固定負債は5,187百万円となり364百万円の増加となりました。これは主に、繰延税金負債の増加454百万円であります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末の純資産は32,924百万円となり、前連結会計年度末に比べ703百万円増加しました。これは主に、その他有価証券評価差額金の増加669百万円であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の見通しにつきましては、コロナ禍からのリバウンド需要がけん引する形で緩やかな回復が続くことが期待される中、人手不足の深刻化や物価高の長期化を背景とした景気の不透明感も徐々に強まりつつあり、鉄鋼需要は調整局面が長引くことが懸念されます。

このような中、当社グループにおきましては、国内外の鉄鋼・鋼材需要の動向を引き続き注視し、適正マージンを確保するために販売価格の維持と需要に応じた最適生産を行うことで製品の安定供給とコスト削減に取り組み、競争力の強化と収益確保に努めてまいります。

なお、第1四半期連結累計期間における業績の進捗状況等を踏まえ、2023年5月12日公表の連結業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日（2023年8月9日）公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,271	7,534
受取手形及び売掛金	8,262	8,583
電子記録債権	5,482	5,671
有価証券	58	78
商品及び製品	8,067	8,039
仕掛品	515	582
原材料及び貯蔵品	2,136	2,181
その他	455	476
貸倒引当金	△31	△31
流動資産合計	33,219	33,117
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	5,274	5,220
土地	4,567	4,585
その他（純額）	2,494	2,505
有形固定資産合計	12,335	12,311
無形固定資産		
	296	274
投資その他の資産		
投資有価証券	7,732	8,871
退職給付に係る資産	182	216
その他	274	215
貸倒引当金	△0	△0
投資その他の資産合計	8,188	9,302
固定資産合計	20,820	21,888
資産合計	54,040	55,005

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,739	8,490
電子記録債務	2,726	2,649
短期借入金	3,541	3,796
1年内返済予定の長期借入金	319	319
未払法人税等	872	77
賞与引当金	428	237
その他	1,370	1,322
流動負債合計	16,997	16,894
固定負債		
長期借入金	2,270	2,190
役員退職慰労引当金	42	47
株式給付引当金	12	12
環境対策引当金	8	1
退職給付に係る負債	1,049	1,045
資産除去債務	9	9
その他	1,429	1,879
固定負債合計	4,822	5,187
負債合計	21,820	22,081
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,940	3,940
資本剰余金	4,629	4,629
利益剰余金	21,082	21,182
自己株式	△696	△696
株主資本合計	28,955	29,055
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,353	4,023
為替換算調整勘定	△122	△202
退職給付に係る調整累計額	△321	△317
その他の包括利益累計額合計	2,909	3,503
非支配株主持分	355	364
純資産合計	32,220	32,924
負債純資産合計	54,040	55,005

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年6月30日)
売上高	11,836	11,505
売上原価	9,182	9,490
売上総利益	2,653	2,015
販売費及び一般管理費	1,469	1,387
営業利益	1,184	627
営業外収益		
受取利息	5	1
受取配当金	73	83
仕入割引	6	5
為替差益	126	192
その他	22	34
営業外収益合計	235	316
営業外費用		
支払利息	8	8
その他	6	3
営業外費用合計	14	11
経常利益	1,404	933
特別利益		
固定資産売却益	0	—
特別利益合計	0	—
特別損失		
固定資産除却損	0	0
特別損失合計	0	0
税金等調整前四半期純利益	1,404	933
法人税、住民税及び事業税	293	45
法人税等調整額	121	219
法人税等合計	415	265
四半期純利益	989	668
非支配株主に帰属する四半期純利益	43	9
親会社株主に帰属する四半期純利益	945	658

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
四半期純利益	989	668
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△101	669
繰延ヘッジ損益	△0	—
為替換算調整勘定	△30	△80
退職給付に係る調整額	△2	4
その他の包括利益合計	△134	594
四半期包括利益	854	1,262
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	811	1,252
非支配株主に係る四半期包括利益	43	9

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	鋼管関連	自転車 関連	不動産等 賃貸	計				
売上高								
外部顧客への売上高	11,571	109	151	11,832	3	11,836	—	11,836
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	11,571	109	151	11,832	3	11,836	—	11,836
セグメント利益又は損失 (△)	1,008	△7	132	1,134	1	1,135	48	1,184

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、機械設備・福祉機器の製造販売であります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、棚卸資産の調整等によるものであります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	鋼管関連	自転車 関連	不動産等 賃貸	計				
売上高								
外部顧客への売上高	11,258	92	151	11,502	2	11,505	—	11,505
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	11,258	92	151	11,502	2	11,505	—	11,505
セグメント利益又は損失 (△)	505	△9	133	628	△0	628	△0	627

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、機械設備・福祉機器の製造販売であります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、棚卸資産の調整等によるものであります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。